



決算説明資料

2024年度第2四半期

日本電解株式会社 2024年11月13日

1. 2024年度第2四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第2四半期累計 業績
3. 2024年度業績見通しの修正
4. 収益改善の取り組み
5. 参考資料

1. 2024年度第2四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第2四半期累計 業績
3. 2024年度業績見通しの修正
4. 収益改善の取り組み
5. 参考資料

2024年度第2四半期 決算ハイライト

連結業績

売上高	営業利益	特別損益	親会社株主帰属 中間純利益
8,811百万円	-1,051百万円	-3,622百万円	-5,091百万円
前年 同期比 2.7% 	前年 同期比 -506百万円 		前年 同期比 -4,688百万円 

業績概況

車載電池用銅箔	<ul style="list-style-type: none">・HEV向けは好調に推移するも、北米BEV市場の低迷で伸び悩む・海外新規顧客向けLIB用銅箔の量産を開始
回路基板用銅箔	<ul style="list-style-type: none">・成熟製品市場における海外銅箔メーカーとの価格競争激化により米国で販売減

特別損益

北米事業関連	<ul style="list-style-type: none">・米国新工場関連の減損損失等(▲2,845百万円)・同工場建設延期により転活用の見込みがない一部の設備発注のキャンセル(▲775百万円)
--------	---

1. 2024年度第2四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第2四半期累計 業績
3. 2024年度連結業績見通しの修正
4. 収益改善の取り組み
5. 参考資料

2024年度第2四半期累計 業績

- 売上高は、米国の回路基板箔を主体に販売数量は減少したが、銅価格上昇により対前年同期プラスとなった。
- 営業利益は、販売数量減少などにより対前年同期比マイナスとなった。

(単位：百万円)

	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額	前年同期比
売上高	8,578	8,811	232	2.7%
車載電池用銅箔	6,478	6,675	197	3.0%
回路基板用銅箔	2,100	2,135	35	1.7%
営業利益	▲ 545	▲ 1,051	▲ 506	-
経常利益	▲ 147	▲ 1,465	▲ 1,318	-
特別損益	▲ 202	▲ 3,622	▲ 3,419	-
親会社株主に帰属する中間純利益	▲ 402	▲ 5,091	▲ 4,688	-

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

<参考>

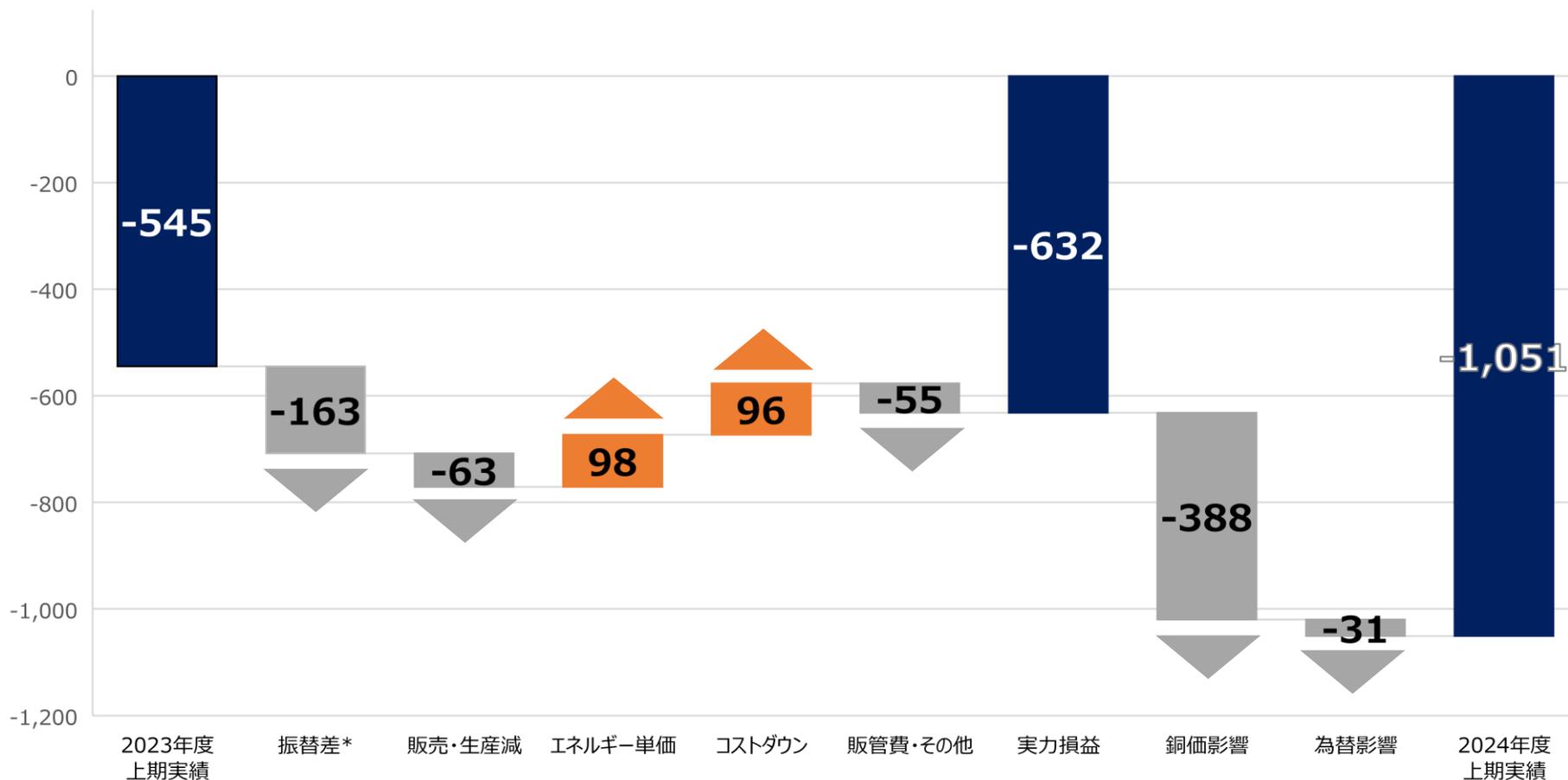
	2023年度上期	2024年度上期
生産数量	4,382トン	4,006トン
為替	141円/ドル	153円/ドル
銅相場価格*	1,241円/Kg	1,497円/Kg

* 銅相場価格JはJX金属から公表されている日本国内の銅価格です。

営業利益増減分析（前年同期比）

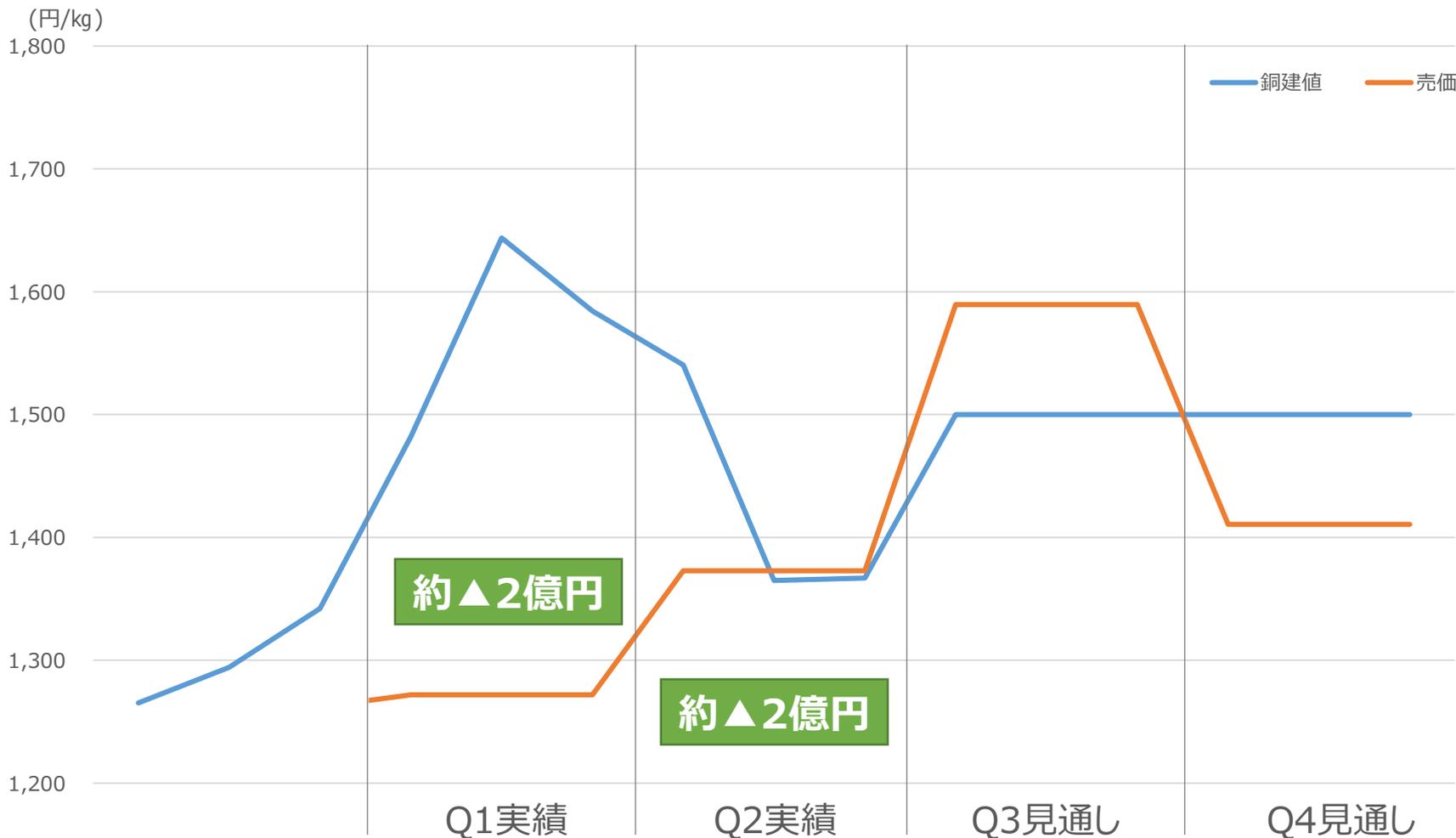
- エネルギー単価の下落、固定費削減を中心としたコストダウンにより改善
- 販売減、販管費増、銅価格高騰などの影響により悪化
- 2023年度上期は、米国子会社整流器故障に伴う売上原価の特別損失への振替が発生*

（単位：百万円）



銅価格変動に伴う売価変動と営業利益影響

- 当社は、製品販売価格に銅価の変動を転嫁させた「銅価スライド制」を採用しているが、転嫁にはタイムラグがあり、上期で営業利益▲4億円の影響



2024年度第2四半期 損益計算書

- 売上総利益、営業利益及びEBITDAは、販売減に加え、急激な銅価格高騰の影響を受け悪化

(単位：百万円)

	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額	前年同期比
売上高	8,578	8,811	232	2.7%
売上原価	8,504	9,170	665	7.8%
売上総利益	73	▲ 359	▲ 432	-
売上総利益率 (%)	0.9%	▲4.1%	▲5.0%	-
販売費及び一般管理費	618	692	73	11.9%
販管費比率 (%)	7.2%	7.9%	0.7%	-
営業利益	▲ 545	▲ 1,051	▲ 506	-
営業利益率 (%)	▲6.4%	▲11.9%	▲5.5%	-
減価償却費	580	585	5	0.9%
EBITDA	35	▲ 466	▲ 501	-
EBITDAマージン (%)	0.4%	▲5.3%	▲5.7%	-

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

1. 2024年度第2四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第2四半期累計 業績
3. 2024年度通期業績見通し修正
4. 収益改善の取り組み
5. 参考資料

2024年度通期 業績見直し修正（連結ベース）

- 売上高は販売減により24.4億円減少
電池箔は需要に対応する要員確保が困難であるため生産可能数量の制約
基板箔は米国の回路基板箔の需要低迷下での競争激化が継続
- 営業利益は、上記の販売減少等により前回予想より8.9億円程度悪化見込み
- 当期純利益は、上記に加え上期実績(▲50.9億円)を踏まえ▲52.9億円となる見込み

(単位：百万円)	2024年9月30日 公表見通し (A)	2024年11月13日 公表修正見通し(B)	修正後差額 (B - A)
売上高	21,440	19,000	▲2,440
うち 車載電池用銅箔	16,140	14,800	▲1,340
うち 回路基板用銅箔	5,300	4,200	▲1,100
営業利益	▲160	▲1,050	▲890
経常利益	▲960	▲1,660	▲700
特別損益	▲875	▲3,630	▲2,755
親会社株主に帰属する当期純利益	▲1,835	▲5,290	▲3,455
EBITDA	1,040	130	▲910

<参考> 2024年度 業績見通しの前提

	9/30公表	11/13公表修正見直し
生産数量：	9,500トン	8,400トン
為替：	148円/ドル	151円/ドル
銅相場価格*：	1,520円/Kg	1,496円/Kg

9/30発表見通しからの差異（連結ベース）

営業利益は前述の販売減少等により前回見通しより9億円程度悪化見込み

通期 営業利益 9/30発表見通し		△1億円
変動要因	[販売関係]電池箔：要員不足による生産可能数量の制約 基板箔：米国の回路基板箔の需要低迷と競争激化	△7億円
	[コスト関係]新規立ち上げ製品の品質安定化に伴うコスト増等	△1億円
	[その他]各業務提携先との交渉に伴う弁護士費用増等	△1億円
9/30発表からの変動要因 計		△9億円
通期 営業利益 11/13発表見通し		▲10億円

1. 2024年度第2四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第2四半期累計 業績
3. 2024年度通期業績見通しの修正
4. 収益改善の取り組み
5. 参考資料

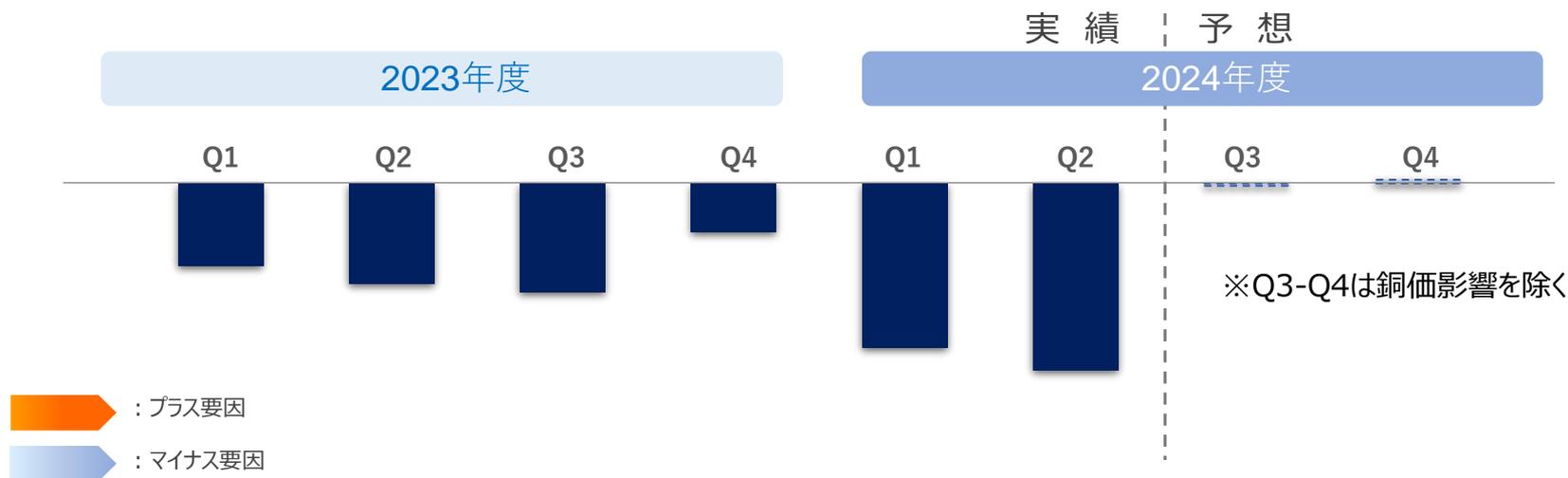
2024年度 販売計画進捗

- 拡販活動により、Q3以降販売拡大見込み
 - 電池：新規海外向け順次立上げ
 - 基板：車載向け、AIサーバー向け等サンプル提供・評価中

生産拠点	用途		納入先 販売市場	Q2	Q3	Q4
日本電解	車載電池	LIB	電池メーカー (日本及び海外)	供給中	●新規顧客 製品供給開始	
		高容量LIB	電池メーカー (日本)	供給中	●新規顧客 製品供給開始	
	回路基板 (ハイエンド製品)	PCB	基板・CCLメーカー (日本)	●新規顧客 新製品(ウェアラブル端末)搭載向け銅箔の供給開始		
		PCB	基板メーカー (海外)	供給中	●新規顧客にてサンプル評価中	
Denkai America	蓄電池	LIB	電池メーカー (米国)			●サンプル供試
	回路基板 (ミドルレンジ製品)	PCB	既存顧客	供給中		

収益改善の取り組み

■ 2024年度下期連結営業赤字脱却を目指す



日本電解	高容量LIB用素材量産：適用ライン増加	→
日本電解	LIB新規顧客供給開始	→
日本電解	回路基板用銅箔：新規製品供給開始	→
日本電解	回路基板用銅箔：新規顧客向けサンプル評価開始	→
日本電解	生産現場におけるDX・IoT化などの製造コスト低減	→
電解グループ	業務提携によるシナジー効果	→
Denkai America	車載電池(蓄電池)用銅箔のサンプル出荷	→
Denkai America	整流器故障による顧客減の影響が長引く	←
日本電解	国内製造電池向け銅箔の販売減	←

2024年度 第3四半期 決算発表予定

決算発表予定

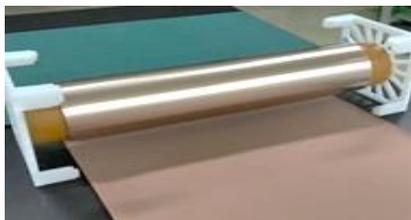
2025年2月10日（月曜日）

1. 2024年度第2四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第2四半期累計 業績
3. 2024年度通期業績見通しの修正
4. 収益改善の取り組み
5. **参考資料**

2023年度 製品別売上構成

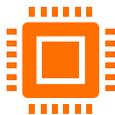
回路基板用銅箔

当社製品



用途

フレキシブルプリント配線板
半導体パッケージ基板



主要最終製品

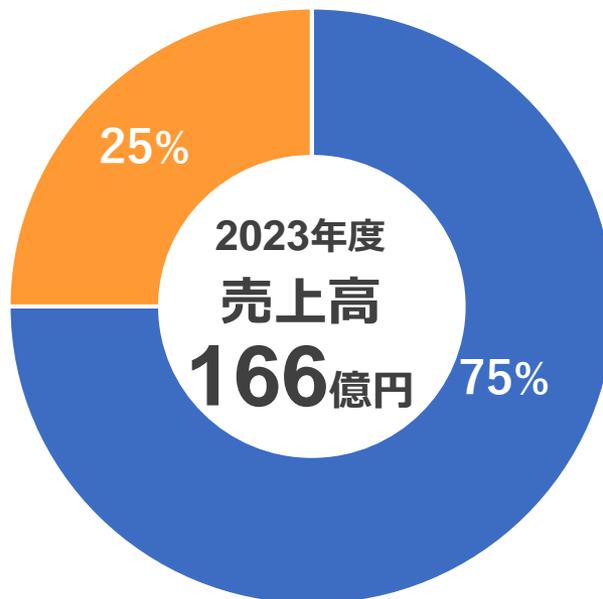


5Gスマートフォン



5G通信
基地局 等

2023年度 販売構成比



車載電池用銅箔

当社製品



用途

リチウムイオン二次電池 (LIB)



主要最終製品



EV



HV

連結業績推移

(単位：百万円)

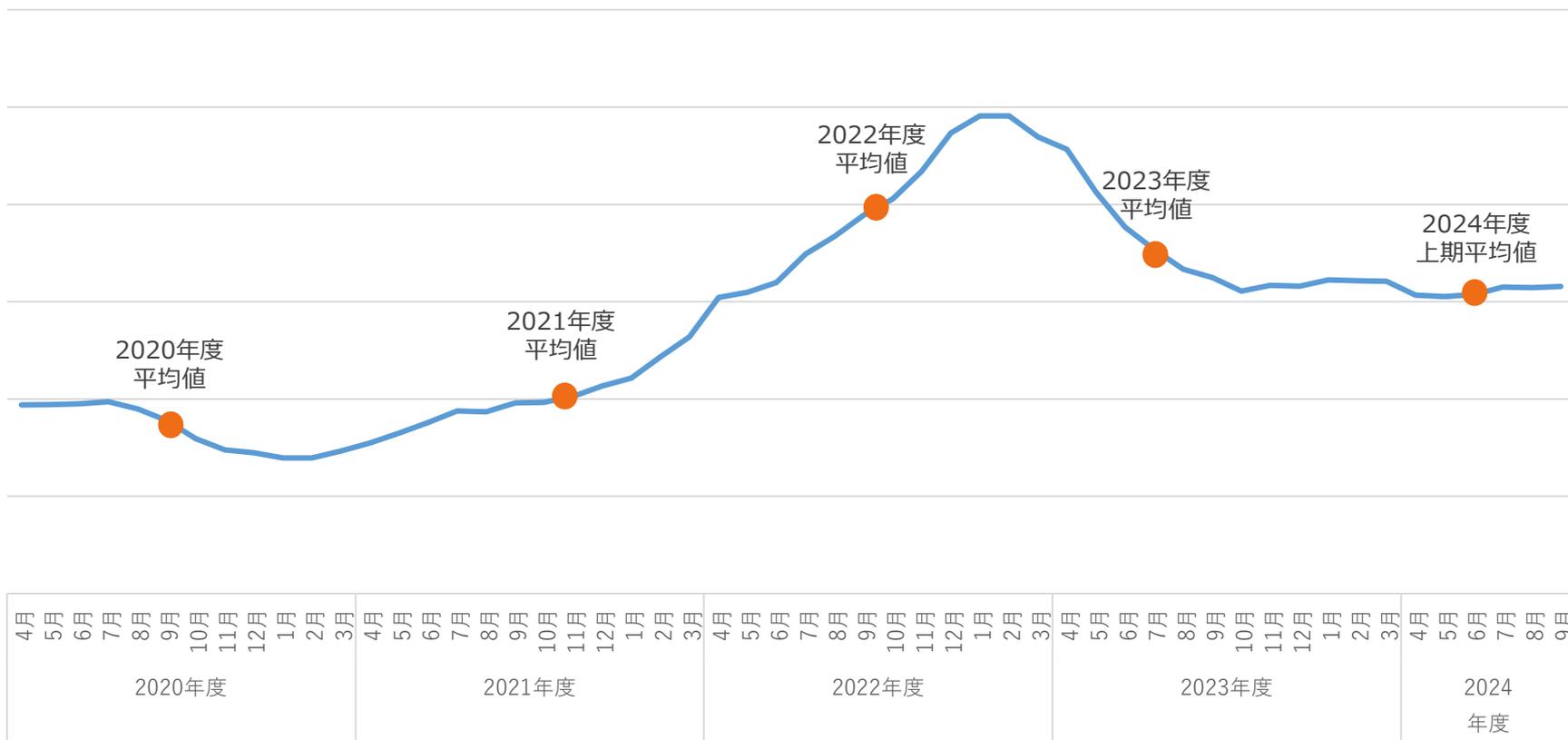
	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023				FY2023 通期	FY2024		QoQ (c)-(b)	YoY (c)-(a)
	通期	通期	通期	Q1	Q2 (a)	Q3	Q4		Q1 (b)	Q2 (c)		
売上高	14,584	20,558	17,047	4,759	3,818	3,769	4,302	16,650	4,343	4,467	123	648
車載電池用銅箔	9,272	13,589	11,316	3,438	3,040	3,027	3,036	12,542	3,126	3,549	423	509
回路基板用銅箔	5,312	6,969	5,730	1,321	778	742	1,265	4,108	1,217	917	▲ 299	138
売上原価	12,863	18,527	16,943	4,678	3,826	3,808	4,146	16,460	4,483	4,686	203	860
売上総利益	1,721	2,030	104	81	▲ 7	▲ 38	155	190	▲ 139	▲ 219	▲ 80	▲ 212
売上総利益率(%)	11.8%	9.9%	0.6%	1.7%	▲0.2%	▲1.0%	3.6%	1.1%	▲3.2%	▲4.9%	-	-
販売費及び一般管理費	1,194	1,025	1,715	322	296	304	301	1,224	352	339	▲ 13	43
販管費比率(%)	8.2%	5.0%	10.1%	6.8%	7.8%	8.1%	7.0%	7.4%	8.1%	7.6%	-	-
営業利益	527	1,004	▲ 1,611	▲ 241	▲ 303	▲ 343	▲ 145	▲ 1,034	▲ 492	▲ 559	▲ 67	▲ 255
営業利益率(%)	3.6%	4.9%	▲9.5%	▲5.1%	▲8.0%	▲9.1%	▲3.4%	▲6.2%	▲11.3%	▲12.5%	-	-
経常利益	440	976	▲ 1,840	44	▲ 192	▲ 610	▲ 530	▲ 1,288	▲ 331	▲ 1,134	▲ 802	▲ 941
当期純利益	193	848	▲ 1,933	▲ 22	▲ 380	▲ 670	198	▲ 874	▲ 468	▲ 4,623	▲ 4,154	▲ 4,242
減価償却費	1,316	1,274	1,240	307	273	284	304	1,169	294	291	▲ 2	18
EBITDA	1,843	2,278	▲ 371	66	▲ 30	▲ 58	158	134	▲ 198	▲ 267	▲ 69	▲ 237
EBITDAマージン(%)	12.6%	11.1%	▲2.2%	1.4%	▲0.8%	▲1.6%	3.7%	0.8%	▲4.6%	▲6.0%	-	-
生産数量 (ト)数)	10,058	11,936	8,520	2,478	1,904	1,970	1,956	8,308	2,066	1,940	▲ 126	36

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

変動要因の推移

電力価格推移

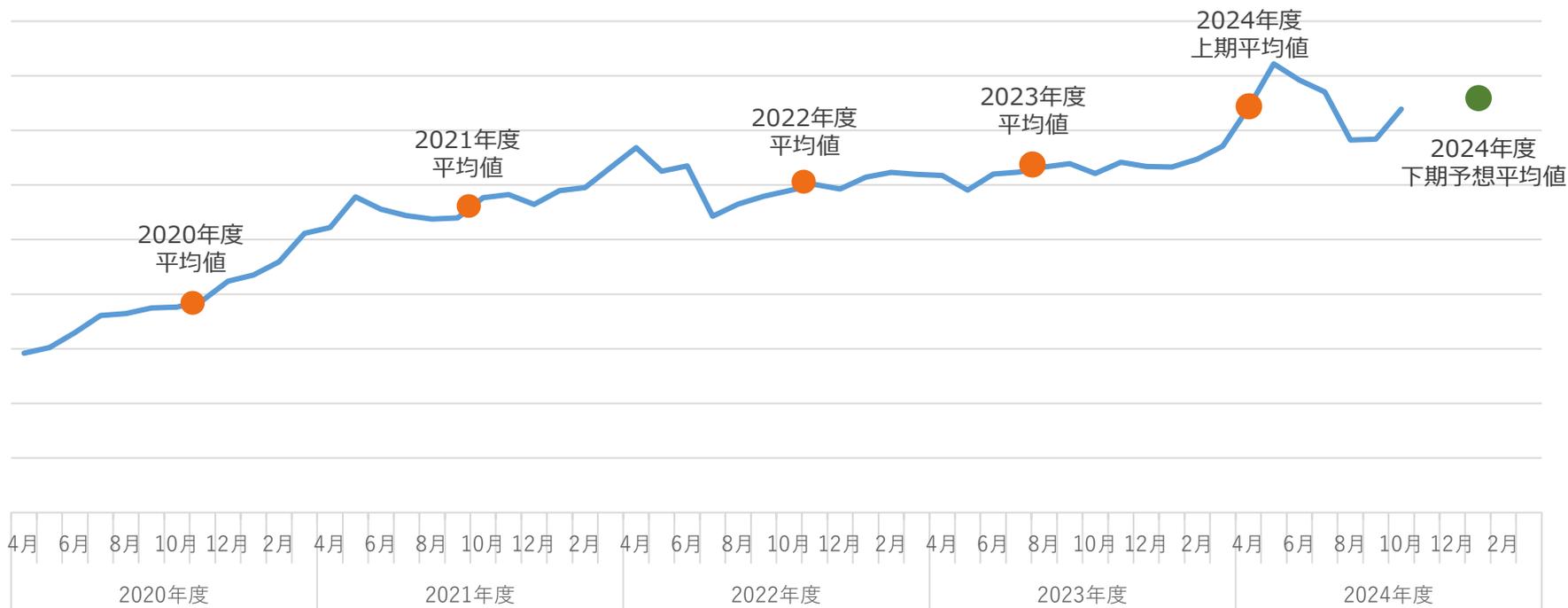
- 当社購入電力価格は、落ち着いてはいるものの過去の水準に比べ依然高価格で推移



変動要因の推移

銅材料価格推移

- 銅材料価格は、2024年6月以降下降に転じたが9月に下げ止まり10月は再び上昇



(出所：JX金属公表の国内銅建値をもとにグラフ化)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	単位
2024年	1,265	1,294	1,342	1,482	1,644	1,584	1,540	1,365	1,367	1,478	¥/kg

銅材料価格

- 銅の相場価格を基準として主に3か月ごとに販売価格を決定する「銅価スライド制」を採用
- 銅価格が変動してから販売価格に反映するまでにタイムラグが生じるものの、基本的に販売価格に反映が可能

サステナビリティの取り組み

Environment

xEVの普及で、脱炭素社会の実現へ

当社では、車載電池用銅箔の供給及び高品質化を通じ、車載用リチウムイオン電池とxEVの普及に寄与し、**脱炭素社会、持続可能な社会の実現に貢献します**

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



当社グループの銅材料は、リサイクル銅100%を使用しています

当社グループは、製造過程で発生する銅箔屑もリサイクルしています
ISO14021:2016の適合について外部認証機関による検証実施済みです

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Social

人的資本経営

「個人の成長 = 企業の成長」を実践します

教育カリキュラムの拡充により人材の成長を図り、中長期的な企業価値向上を目指します

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Governance

環境への取り組みの拡充によるガバナンス向上

一例として地球環境改善のため環境管理委員会を充実させ、カーボンフットプリント部会を新設しました

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



この資料の取扱について

本資料は、日本電解株式会社及びその連結子会社の企業情報等の提供のみを目的として作成されたものであり、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在の予定、推定、見込または予測に基づく将来に関する記述が含まれています。この将来に関する記述は、本資料発表日現在において利用可能な情報をもとに、当社経営者が判断した内容に基づいております。将来に関する記述には様々なリスクや不確実性があり、様々な要因の変化等により、この資料に記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがありますことをご了承ください。



日本電解株式会社
Nippon Denkai, LTD.